

| 項目 | 若者・女性、文化・スポーツ、交流 | 地域 | 柏原 |
|----|------------------|----|----|
|----|------------------|----|----|

☆活動名： かいばら 雛めぐり

★事業を始めたきっかけ、ねらいは？

・「かいばら雛めぐり」は、春休み期間にお雛様を街中に飾り、古来からの伝統文化の継承を推進し、家宝の保存、子どもからお年寄りまでの住民間のつながりや観光客のふれあいを図る。

★事業の効果は何ですか？

・街中全体が雛づくしに飾られ、古来の風習や人形の精巧さ、美しさなど伝統物継承の重要性が認識できる。

★ここがポイント！！

・女性主体の実行委員会制による事業実施により、女性の参画が促されており、一番の見所が、各地区の自治会や商店街のなかま、有志たちによって丁寧に手づくりされた「つるし雛」です。子の健やかな成長を願い、一針一針丁寧に仕上げられています。



連絡先 他

丹波かいばら雛めぐり実行委員会（柏原自治会館内）
TEL：0795-73-0198

| 項目 | 地域福祉 | 地域 | 柏原 |
|---|---|----|----|
| <p>☆活動名： 柏原地域支えあい推進会議</p> <p>★事業を始めたきっかけ、ねらいは？</p> <p>・ 柏原地域では、少子高齢化・核家族化が進む社会で、『まちづくりとはなにか』との問いの中で、地域包括ケアシステムとの出会いは、介護保険制度そのものとしての内容に加え、それは、実践として住民の参加・参画を求め、地域のうえに成り立つこととして重要であった。 現在、まちづくりは、生活者の視点（地域生活視点）で捉え直し、これからの地域コミュニティの在り方とともに、地域づくりの方法・進め方としても地域包括ケアシステムに取り組んでいる。</p> <p>★事業の効果は何ですか？</p> <p>・ 柏原地域支えあい推進会議では、地域生活課題について協議し、各構成メンバーは所属団体に持ち帰り、それぞれの役割に応じて事業や活動として展開している。</p> <p>★ここがポイント！！</p> <p>・ 柏原地域支えあい推進会議（第2層協議体）は、柏原自治協議会・新井自治協議会が中心となり、柏原町自治会長協議会と柏原民生委員児童委員協議会と勉強会の有志を加え、「オール柏原」での構成で設立されている。</p> <div data-bbox="799 1249 1267 1615" data-label="Image"> </div> | | | |
| 連絡先 他 | 柏原地域支えあい推進会議（新井ふれあいセンター内） TEL：0795-72-2818 | | |

| 項目 | 地域福祉、交流、子ども・教育、若者・女性 | 地域地区 | 柏原新井 |
|----|----------------------|------|------|
|----|----------------------|------|------|

☆活動名：子ども子育て交流広場

★事業を始めたきっかけ、ねらいは？

地域に乳児・幼児とその子育て世代の姿が少なくなった。乳児・幼児とその子育て世代が集い、楽しみ、交流することで思いを分かち合う。

★事業の効果は何ですか？

・乳児・幼児とその子育て世代が集う場を設けて交流し、小さな生命を慈しむとともに、子育ての大切さを考える機会となっている。



★ここがポイント！！

新井ふれあいセンターでは、毎月2回、「子育てママの集いの場」を提供している。柏原子育て学習センターと連携して、子育てママの対象を地域に広げ、イベントとしたものが『子ども・子育て交流広場』である。

| | |
|-------|-----------------------------|
| 連絡先 他 | 新井自治協議会 TEL：0795-72-2818 |
|-------|-----------------------------|

| | | | |
|----|------------|----------|----------|
| 項目 | 防災・防犯、地域福祉 | 地域 地区 | 柏原 新井 |
|----|------------|----------|----------|

☆活動名：新井地区「防災・減災」連携協議

★事業を始めたきっかけ、ねらいは？

・昨年7月の豪雨で、地域内で被災があり、各自治会で災害に備えることについての関心が高まった。

しかし、新井地区内では、各自治会の防災の情報共有ができていないほか、災害時の情報共有の仕組みもなかった。新井自治協議会で、防災力を高める仕組みをつくる。

★事業の効果は何ですか？

・各自治会の抱える課題・問題点を抽出し、単自治会だけでは解決できないことを自治協議会が中心となり、連携をとることにより解決できる。



★ここがポイント！！

- ・自分たちの地域は自分たちで守る。
- ・自助、互助・共助を中心とした『まちづくり』を行うため、各自治会の防災組織、避難場所、連絡体制、備蓄状況等の整理を行っている。

連絡先 他

新井自治協議会
TEL：0795-72-2818

| 項目 | 地域福祉、交流 | 地域 | 山南・柏原 |
|----|---------|----|-------|
|----|---------|----|-------|

☆活動名：認知症カフェ「だんない」 ※だんない…丹波弁で大丈夫、構わないよ

★事業を始めたきっかけ、ねらいは？

「母親のような認知症の人たちが主人公として参加できる場所を作りたい」、「認知症の人に出会う機会になれば」と実行委員会（山南地域の自治協議会長や丹波市南部地域包括支援センターなど）が企画した。

- ・認知症だということで、活動範囲に制限を付けない。
- ・一人ひとりの尊厳を守り、生きがいを感じてもらう。

★事業の効果は何ですか？

企画者の熱い思いは当初、そのまま対象者やその家族には伝わりにくいものでした。現に、主役としてカフェに参加することを拒否する家族が多く苦労しましたが、いったん自信がつくと表情が明るくなり、言葉に力が満ちることがよくわかりました。

参加者は、「緊張したけど、いつもよりたくさんおしゃべりできて楽しかった」と満足そうだった。

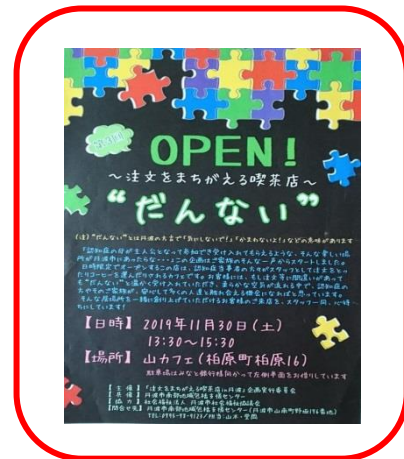


★ここがポイント！！

公共の建物を利用せず、普段営業をしているカフェや食事処を利用していることと、スタッフも事業所を背負っての関わりではなく、あくまでも個人で関わることを大切にしています。

★お知らせ

今後市内全域での展開を考えています。



| | |
|-------|--|
| 連絡先 他 | 代表：注文をまちがえる喫茶店 in 丹波 企画実行委員会 連絡先：丹波市南部地域包括支援センター（山本・堂岡） TEL：0795-78-9123 |
|-------|--|